

正

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法		第 12 条第 1 項 第 30 条第 1 項		の規定により、許可を申請します		※手数料欄 年 月 日	
令和〇〇年〇〇月〇〇日		奈良市長		様		申請者 氏名 株式会社〇〇	
		代表取締役		〇〇 〇〇		法人役員が多数になる場合は、 別紙参照とし、別紙の添付を お願いします。	
登記事項証明書に記載の 住所・氏名どおりの記入を お願いします。		奈良市〇〇町〇丁目〇番		株式会社〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 (奈良市□□町□丁目□番 □□ □□ 又は 別紙参照)			
		奈良市△△町△丁目△番		株式会社△△設計事務所 代表取締役 △△ △△			
		奈良市●●町●丁目●番		株式会社●● 代表取締役 ●● ●●			
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)		奈良市■●町■丁目■番		(緯度：34 度〇〇分〇〇. 〇秒、 経度：135 度〇〇分〇〇. 〇秒)			
緯度経度の秒については、 少数第一位まで 記入をお願いします。				〇〇〇. 〇〇 平方メートル			
		宅地、駐車場、田 など					
		宅地、駐車場 など					
		平地盛土		・ 腹付け盛土 ・ 谷埋め盛土			
9 土地の地形		溪流等への該当		有・無			
イ 盛土又は切土の高さ		盛土：〇. 〇〇 メートル		切土：〇. 〇〇 メートル			
ロ 盛土又は切土をする 土地の面積		盛土：〇〇. 〇〇 平方メートル		切土：〇〇. 〇〇 平方メートル 計：〇〇〇. 〇〇 平方メートル			
ハ 盛土又は切土の土量		盛 土		〇〇. 〇〇 立方メートル			
		切 土		〇〇. 〇〇 立方メートル			
ニ 擁 壁		番 号		構 造		高 さ	
		1		R C 造 L 型擁壁		〇. 〇〇メートル	
		2		間知ブロック積擁壁		□. □□メートル	
		3		重力式擁壁		△. △△メートル	
該当なしの場合は、 “該当なし” と記入を お願いします。		番 号		種 類		高 さ	
						メートル	
		該当なし					
ヘ		番 号		種 類		内法寸法	
		1		U 型側溝		〇〇×〇〇 センチメートル	
		2		V U 管		□□センチメートル	
		3		雨水樹		△△×△△ センチメートル	
多数になる場合は、 別紙参照とし、別紙の 添付をお願いします。						△ヶ所	
ト 崖面の保護の方法		R C 造 L 型擁壁、間知ブロック積擁壁、重力式擁壁					
チ 崖面以外の地表面 の保護の方法		崖とは反対方向に排水勾配をつける など					
リ 工事中の危害防止 のための措置		流土止め工、通行安全防護柵設置 など					
ヌ その他 の 措 置		騒音、振動及び土砂の飛散に対する防止措置を講じる など					
ル 工事着手予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日		又は 許可後すぐ			

(裏 面)

	ヲ 工事完了予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日 又は 着手後〇〇か月
	ワ 工 程 の 概 要	準備工→土工→擁壁工→排水工→整地工
11	そ の 他 必 要 な 事 項	道路法第〇〇条、法定外占用許可、風致許可 など

申 請 代 理 人 住 所 氏 名	奈良市△△町△丁目△番 株式会社△△設計事務所 代表取締役 △△ △△ 電話番号 0742-△△-△△△△
-------------------	--

〔注意〕 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は 3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 2 欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。 5 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 6 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 7 8 欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。 8 9 欄は、溪流等（令第 7 条第 2 項第 2 号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。 9 11 欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。	※受 付 欄
	※許可に当たって付した条件